

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5総合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

航空・空港分野の脱炭素推進法案が成立！

～附帯決議にSAF導入に関わる航空連合要望が反映！～

脱炭素社会の実現に向けた取り組み 第3弾

6月3日（金）、航空分野・空港分野の脱炭素推進に向けた航空法等改正案が、参議院本会議にて全会一致で可決されました（4月26日に衆議院可決済）。参議院の採決では附帯決議（※）が付され、持続可能な航空機燃料（SAF）の導入に関する航空連合の要望が反映されました。



参議院本会議での法案採決の様子

航空連合は、脱炭素社会の実現に向けた航空関連産業が果たす責任の大きさを踏まえ、各所との意見交換や要請を重ねてきました（NEWS EXPRESS [23-37](#)、[23-52](#)、[23-56](#) 参照）が、引き続き、働くものの目線に基づく提言に取り組んでいきます。

※国会の委員会が法律案を可決する際に、当該委員会の意思を表明するものとして行う決議のこと。

附帯決議（一部、抜粋）

航空の脱炭素化の推進には、バイオジェット燃料を含む持続可能な航空燃料であるSAFの供給の拡大が不可欠であることから、国産SAFの開発及び製造等の導入の促進に関する事項について航空脱炭素化推進基本方針に盛り込むこと。また、国産SAFの安定した供給を目指し、開発、製造及び流通を行う事業に対する、国による財政面を含めた支援について早急に検討を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずること。なお、国産SAFの開発及び製造が軌道に乗るまでの当面の間は、輸入SAFの安定的な調達、価格低減を図るための環境整備を図ること。



航空連合の主張が反映



航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業